

その後・・・道成寺の僧達は、安珍と清姫のお話を、人々に語って聞かせた。  
しかし・・・それは、清姫が蛇体となって安珍を襲う奇妙な物語になってしまった。・・・ただ・・・これは、僧達の思  
い違いと・・・また、その驚きと感動から、安珍を贖身し・・・美化するあまりの創作だったのだが・・・。

一方・・・清次達は、安珍の本当の心を、他の人達に語る事はなく・・・  
・・・二度と・・・真砂の地に帰る事もなかった。

その後、九州に渡り・・・日高の姓を名乗ったと伝えられている。

むろん・・・これは、安珍の眠る日高の土地を想つての事に違いない。



真砂の地の清姫の墓